

桜からハナミズキの季節に移り、
青空とのコントラストが美しい

心から感動できない現実はさみしいが
終息したときには胸いっぱい深呼吸しよう



ピッコロさんと一緒に

清瀬市子ども家庭支援センター長 きたひら のりゆき **北平 宜之**

私が子ども家庭支援センターに配属になって、1か月が経ちます。

桜が咲き、子どもたちが新たな生活をスタートさせる季節が過ぎ、例年ですと、保育園や幼稚園、小学校や中学校では、入園、入学の緊張も少しほころび、不安や緊張が、楽しさや安心へと変わっている、そんな素敵な季節です。

しかし、今年は、かなり様相が異なります。新型コロナウイルスの流行により、新1年生はいまだに授業を受けられず、学校生活をスタートさせられていません。外出も自粛です。親の在宅ワークが増えて、子どもたちの家庭環境も変化しています。こんな状況が、どれほど子どもたちの気持ちを動揺させていることか。

でも、こんな混んとした状況だからこそ、ピッコロさんという存在の「ありがたさ」を再確認させられました。

ファミリーサポートもしかり、ヘルパー事業もしかり、保育園などでは対応しきれない、家庭の事情や、子どもたちの気持ちを、しっかりと受け止める中で、その使命感からは、たくましさ、信頼、そして「感謝」を感じずにはいられません。

そして、学校での学童預かりにも尽力いただき、各小学校をまわり、子どもたちの姿を見てきましたが、どの学校でも、子どもを見守り、遊び、話し、学ばせる中で、子どもたちは笑顔で溢れていました。

そんなピッコロさんの皆様からは、子どもたちを地域で育てることの大切さを、市とNPOとの連携の重要さを、そして何よりも、子どもたちへの愛情の尊さを、教えられた1か月でした。

子育てという大きなテーマは、市政の中でも重要課題でもあり、その支援のあり方、誰もが抱える不安や悩みを、ピッコロさんと一緒に、受け止めて、考えて、手を差し伸べられたらと思います。

第57回理事会報告

3月26日(木)の理事会で以下の話し合いをしました。

- ・2019年度の事業報告からみえてくる課題について報告し、対策については事業計画にいれる。
- ・介護サポート・ピッコロの手引きの改訂について報告
- ・新年度人事について報告
- ・各事業のヒヤリ・ハットレポートを活用について
- ・2020年度助成金申請について

【支援活動についてお願い】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当法人の活動は、別紙にてご案内の「お知らせ」と「チェックリスト」使用にて行います。ご協力をお願いします。

今後の対応につきましては、HPでもご案内いたしますので、随時ご確認いただきますようお願いいたします。

2020年度介護サポート・ピッコロの手引きが 改訂になりました

2017年4月から家族まるごと支援事業としてスタートした介護サポート・ピッコロは、4年目を迎えようとしております。この事業は、当初から地域貢献を目的に公的支援や制度の隙間に意義を見出すとともに、これまでの実績を通し専門職の方をはじめ、地域の方々にも徐々に認知して頂き依頼件数も年々増加傾向がみられ、現在では清瀬市においても住民参加型の相互援助活動の必要性と有効性を再認識する機会となっております。

しかしながら、ピッコロの独自事業として展開している現状において、今後継続し運営していくためには「手引き」の見直しが急務となり検討を重ねて参りましたところ、改訂の運びとなりました。それにより介護サポート・ピッコロの特性を活かしながら、引き続き人に優しい地域福祉活動の一助として取り組んでいく方向性が確立できたものと考えております。

つきましては、会員の皆様にはこれまでと同様に一層のご理解とご支援のほど宜しくお願いいたします。尚、改訂の「手引き」は今年度4月より使用することとなります。

【改訂箇所・参照】

新規会員は、入会金：5,000円 年会費：初年度免除

既存会員は、年会費：2,000円

利用料は、1,500円/時（基本時間）1,600円/時（基本時間外）

援助活動時間は、1時間からスタートその後30分単位で加算



つどいの広場 アドバイザーの任をおりて

前アドバイザー 高橋早苗

新型コロナウイルス感染予防の為、市からつどいの広場閉室の連絡が来たのは、2月下旬でした。最初は3月15日まで…その後状況は日々変わり延長に続く延長で、とうとう5月末まで市内の公共施設はもちろん、学校や幼稚園なども休校・休園となりました。この時期、卒園・卒業・入園・入学式などの記念すべき行事や、ポカポカ陽気の中お花見やご家族で旅行など、親子で楽しみにしていた行事を断念した方も多と思います。

私事ですが、3月末でつどいの広場のアドバイザーを辞める事になっていたもので、3月15日まで広場がお休みと聞いた時は、“あ～ママやお子さん達と会える日が、減ってしまったなあ(._.)もしお休みの期間が延長になったら、会わずにさよならになってしまうかも!!”と不安になりました。予感的中!!コロナ感染が広がり、世の中の状況は日々悪くなって行くばかり…まさかこんな形で終わってしまうとは(>_<)つどいの広場で顔を見て、皆さんにきちんとご挨拶したかったのですが、それも叶わずほんとは残念です。

不要不急の外出を控える日々、子育て中のパパ・ママ、お子さん達はどの様に過ごしているのでしょうか？家の中で体力を持て余しているお子さんも沢山いる事でしょう。支援者として何か出来ればと思っても、難しい状況です。ファミサポご利用の保護者からも、質問される事が多く皆さん不安な中依頼される方もいらっしゃいます。学童保育をご利用の保護者からは、あの狭い部屋で長い時間過ごす方が心配との声もありました。今は自分の出来る範囲で、困っている人のお役にたてればと思うばかりです。でも、嫌な事ばかりではありません。3月下旬から保育に入っていたご家庭に、今月11日に赤ちゃんが無事に産まれたとの知らせがありました。こんな状況でも、出産を控えてる妊婦さんは沢山いる事でしょう。安心して出産、育児に専念出来るよう、1日も早くコロナが終息する事を願って、みんなで乗り切りましょう！



ホームスタート利用終えて、素敵な笑顔のKさん！



3歳の長女とつかまり立ちが始まった双子を子育てしているKさんは、いよいよ一人での子育てに限界を感じ、ホームスタートを利用しました。ホームビジターに来てもらう日は朝から気が重くならず、子ども達に優しく出来たと言います。

いつも我慢をさせている上の子どもと時間をとりたいたと希望されていましたが、双子たちに手がかり上の子どもと遊ぶ事はできなかったが、上の子ども

さんは双子さんたちに気をとられず、ビジターさんとじっくり遊べ満足したそうです。

ビジターの訪問が終わった後も「明日は○○さんの日？」と今でも覚えていてくれるとのこと、ビジターにとっても嬉しいお話でした。お会いした日はいつも素敵な笑顔のKさん！一番きつかった時期に助けていただいたと感謝の言葉をいただきました。(M)



自信喪失中 R.Nさん

幼稚園児の娘は、4月に最上級の年長さんになると、張りきっていましたが、残念ながら、始業式も5月までお預けとなりました。

3月からの長い休みは、始めのうちは楽しみながら生活していましたが、非常事態宣言が発令されてからは、親子共々ストレスフルな毎日を送っています。公園で遊ぶにしても、お友達と誘い合わせてということには気が引けますし、公園に居合わせた子ども達と遊ぶにしても『離れて!』などと言えませんし、感染予防を重視すれば、家で過ごすのが1番だと、強く感じています。しかし、外遊びが大好きな娘にとっては、ストレス以外の何者でもないと思います。

そして、一人っ娘の遊び相手は専ら私であり、何をしても常に『遊ぼう!』と誘ってくるので、それに付き合うと家事も思うようにできなかつたり、買い物に行くにも、置いていくわけにもいかず、同行すれば、どこそこ構わず触れまくったり、どこかに行ってしまったたり、床に座り込んだり……

普段なら、何でも無い様なことまでもストレスに感じたりして、つい、大きな声を出してしまったり。

就園前は常に一緒にいても、これほどストレスフルではなかったのに、なぜかしら?と、考えてみたら、娘の行動力と、体力が向上した事と、発する言語が達者になった事にたどり着きました。娘が成長した証を本来なら喜ぶところでしょう。が、素直に喜ばずに、母親業に自信を失くしています。(元々自信はそんなにないですが……)

それでも、娘とのお家時間をどう楽しもうかと、日々模索中です。ゴールデンウィーク明けに収束すると思えませんが、感染者が減り、通常の生活が出来ることを祈るばかりです。

お子さんやご家族の自粛生活の様子をお寄せいただきました
新型コロナウイルス感染症予防、緊急事態宣言の中、

家族一緒の時間 S.Hさん

私は大学生と小学6年生2人兄弟の母です。自粛生活が続きますが、大学生は個人に任せて、小学生はとりあえず勉強させないという母心と休みを満喫したい子の攻防です(笑)。

ゲームがしたいなら勉強ね!走ろうか!と言ってたら、不思議とやるようになりました。

走る方は近所の1区画をぐるぐる16周約4キロ走ってます。夫が地図を買って、自宅スタートで走った距離を書き込むようにと話したら、今は福島県南会津町まで行きました。

家族一緒の時間が多くなり、食事は鉄板の回数が増えたり、土日の昼食は夫が作ってくれますが、これは外食好きな夫が食べたい物を作るので、味が濃いか色々ありますが、作る事でストレス発散してるようだし、子どもたちも喜んでるので良かったと思います。一緒にいる時間は、こうしたらいいのにと色々想ってしまいますが、TVなど現実を知る度に、生きてるだけで幸せだと思えます。

大方目をつぶり、やる事やっているならいいじゃないかと私も趣味に没頭する時間を作り、人間なんだから良い面悪い面あって当たり前と笑って、免疫上げて続けていこうと思います。

当たり前だった日常がまた戻る日を信じてまた皆さんに会いたいです。



当法人エマで子育てひろば、つどいの広場(元町・竹丘)アドバイザーが動画やメッセージをアップしております。アクセスしてみてくださいね。



《会員状況 2020.4.30 現在》正会員 61 名・準会員 97 名・賛助会員 15 名 (団体 2 名・個人 13 名)

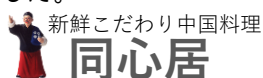
◇3,000 円以上寄付者・16 名◇

♥賛助会員♥

麦倉直美さま・宇都宮篤司さま・池田涼子さま・福島志保さま・橋本直子さま・滝川厚子さま
ほか 7 名 支援者から賛助会員となり応援する側になってくださった方もいらっしゃいます。

ありがとうございました。

♥法人会員♥



新鮮こだわり中国料理
同心居



(株)関工務店



* NPO の活動を維持していくため、ピッコロでは寄付を募っています。事務所にばち袋も用意していますが、直接お振込みくださる方もいらっしゃいます。会員の皆さんに限らず、お知り合いの方へもお声掛けいただくと嬉しいです。お気持ちをお願いします。

【寄付お振込先】 ゆうちょ銀行【口座名】子育てネットワーク・ピッコロ【口座番号】00190-6-602187

3 月～4 月の動き		— これからの活動予定 —	
○ピッコロ	△K-net、つどいの広場	◆ファミサポ	HS=ホームスタート HV=ホームビジター
3/2(月) △つどいの広場調整会議		5/1(金) 10:00～ ○定例会(アイレック会議室)	
3/3(火) ○定例会(アイレック会議室)		5/7(木) 9:15～ ◆サブ/アド調整会議(事務所)	
3/4(水) ◆サブ/アド調整会議		10:30～ △K-net 運営会議(事務所)	
△K-net 運営会議		5/2(土) 9:00～ ○ルーム職員会議(事務所)	
—○清瀬ソーシャル・ネットワーク・ラボ		5/10(日) 13:00～ ○2019 年度監査(事務所)	
3/9(月) —△K-net サポーター—養成講座		5/11(月) 13:00～ △つどいの広場調整会議(元町つどいの広場)	
3/10(火) ◆3～4 か月健診(ファミサポ説明)		5/15(金)～6/12(金) ◆保育サービス講習会	
3/12(木) HS トラストィ会議		5/19(火) 13:00～ ◆3～4 か月健診(ファミサポ説明)	
3/13(金) △K-net 子育てひろば		5/25(月) 10:00～ ○K-net リフレッシュ講座(ストレッチ)	
3/14(土) ○ルーム職員会議・研修		5/28(金) 29(土) HS ホームスタート・ジャパンの OG 研修会	
3/16(月) ○責任者会議		5/30(日) 13:00～ HS ホームスタート・ジャパン定期総会(ネット会議)	
3/26(木) HS 東京ビジターデー打合せ		6/1(月) 9:15～ ◆サブ/アド調整会議(事務所)	
○第 55 回理事会		13:00～ △つどいの広場調整会議(元町つどいの広場)	
3/28(土) ○ルーム職員会議/新年度準備		6/2(火) 10:00～ ○正会員のつどい(けやきホール第3会議室)	
3/30(月) ○ピッコロルーム運営会議		6/9(火) 13:00～ ◆3～4 か月健診(ファミサポ説明)	
4/1(水) ○新入園児入園		6/12(金) 10:00～ △K-net 子育てひろば(アイレック会議室)	
4/3(金) ○正会員のつどい(けやきホール第3会議室)		6/13(土) 15:30～ ○第 17 回定期総会(アイレック会議室)	
<p>新型コロナウイルス感染予防のため、公共施設が 5 月末まで閉館となりました。そのため、市内つどいの広場、5/8 (金) K-net 子育てひろばも中止となっております。(消し線はキャンセルです)</p> <p>今後も変更になる可能性がありますので、引き続き、当法人の HP でお知らせいたします。ご確認ください。</p>		6/17(水) 10:00～ ▲K-net 中里ひろば	
		6/18(木) ○要保護児童対策地域協議会	
		6/19(金) 14:00～ HS 東京ホームスタート推進協議会総会(新宿二葉)	
		6/24(水) 10:00～ ▲K-net リフレッシュ講座	
		6/26(金) 10:00～ ▲K-net 子育てひろば(アイレック会議室)	
		6/28(日) 13:00～ HS ホームビジター講演会及び報告会(保育付)	
		「ひとりでがんばらないで」高祖常子さん	

《編集後記》
自粛生活の大変さは一言では言えない。お子さんと在宅している方に原稿をお寄せいただいたが、家族がずーっと同じ空間の中で過ごす、夏休みや年末年始の長期休暇中のように出かけることも出来ない拘束された時間を親も子どもも強いられる。辛い状況を「現実を知る度に生きていくだけで幸せ」、母親業に自信を無くしながらも「子どもとの時間をどう楽しむか模索したり」、親として、一人の人間として、今の状況を受け入れるしかない現実に向きあっている。

年度末・年度始めて進級級の時期でもある。つどいの広場も閉所となり、親子はどこへいってしまつたのだろうと思えるほど、街から姿を消したようにみえる。

マスクの無い状況からつどいの広場アドバイザーは新しい年生になるお子さんが広場へ挨拶に来てくれたときにプレゼントしようとしたが、マスクを手作りしたが、広場の閉所が継続のため学童保育で役立ててもらった。

長期に渡り、家の中にこもっている状況は大人にも子どもにもストレスの塊になるに違いない。個々の時間の確保や遊びを取り入れた工夫が必要だろう。一日も早い終息を願う。